志小安全・防災だより

R 元.11.25　NO.30
安全・防災担当：早坂　潤

2回目の徒歩による下校指導が行われました

１１月１９日（火）に２回目の徒歩での下校指導を行いました。この日は朝から風が吹き，時々雨が降っていたので，子どもたちが帰るときにどのような天候になっているか心配でしたが，なんとか天気は持ちこたえてくれました。出発前に校長先生より，徒歩で下校する意義や交通安全に気を付けて歩く練習をしてほしいこと，見守ってくださるお家の人や地域の方々へ感謝の気持ちをもつことの大切さなどを話されました。その後，沼田地区，旭が丘・西団地，小森地区の子どもたちと，大森・袖浜，大久保，田尻畑地区の子どもたちが分かれて下校しました。田尻畑地区コースには，齊藤教育長も志津川高校前まで一緒に歩いて，子どもたちの安全を見守ってくださいました。途中，大船コースのバスが通り過ぎましたが，そのときバスに乗っていた子どもたちが，歩いている子どもたちを励ますようにみんなで大きく手を振ってくれた姿がとても印象的でした。今回は，６つのコースに分かれて下校指導を行いましたが，今後どの地区が徒歩通学になるのか，正式な通学路はどのようになるのかはこれからです。保護者，地域の皆様，徒歩での下校指導に当たりご協力をいただき，どうもありがとうございました。徒歩下校に関するアンケート用紙を配布いたしましたので，ご意見等をよろしくお願いいたします。

校長先生から，徒歩下校をとおして学んでほしいことを話されました。顔を上げてしっかりと話を聞くことができました。

出発時に雨が降ってきたので強くならないか心配でした。風邪を引かないようにしっかりと寒くない格好をして出発です。

橋の上からサケが泳いでいる様子を見ることができました。みんなで歌を歌ったり，楽しい話をしたりで盛り上がっていました。

今年も八幡川にはサケが上ってきています

八幡川に取り付けられているサケを捕るための鉄格子の中では，勢いよく水しぶきを上げてもがいている大きなサケの姿が見られました。川に掛けられた網の手前には疲れ果てて弱ったのか腹部を上にしながら苦しそうに泳ぎ回っているサケや死骸となり水に沈んでいるサケの姿も見られます。今年は昨年と比べると数は少ないようですが，今年も震災後に放流されたサケがまた戻ってきました。日ごとに数は減ってきていますが，できるだけ長く生きてほしいと思いました。